

震災から 1 週間が経ちました。

テレビでは、避難所の悲惨な状況が刻々報道されています。

一方で、医薬品が足りない、医師や看護師が足りないということが、あちこちのホームページ、メール、ツイッターなどの情報で流されています。厚生労働省は、被災地の医療品供給を優先するために、被災地域以外の医療機関や薬局での医薬品の長期処方自粛を行う通知を出しました（3月17日付保険局医療課発事務連絡）。

「患者への最適な医療を確保しつつも」という前提ですが、被災地以外の地域の医療体制や医薬品の供給不足も、今後心配になってきます。

いずれ総括すべきことですが、あらためて、「効率化」と「医療費削減」の名の下に、保健所を中心とした地域保健ネットワークを崩してきたこれまでの医療政策の根本が問われていると思います。

まず、命にかかわる重篤な患者、人工透析や人工呼吸器装着者などの常時医療を必要とする人たちを最優先で救うこととともに、被災地はもとより、被災地以外での難病・長期慢性疾患のある人たちの医薬品医療提供体制の確保について、国は特別の体制をとって臨むべきと思います。

【震災情報】

○厚生労働省が出している震災関係の通知などは、厚生労働省ホームページに随時掲載されるようになりました。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000014ih5.html>

○被災地の医療の状況

MRIC・医療ガバナンス学会のメルマガより被災地の医療ニーズ情報提供のお願い

私たちは、被災地の医療の現状や、不足する物資、医師、看護師などの応援要請、後方医療支援が必要な患者などに関する情報をメールでご連絡頂き、迅速に集約・整理して関係者に配信することで問題解決への一助となるべく活動を開始しています。

一刻も早い支援を実現していくためにも被災地からの情報提供が不可欠です。寝食の間もない激務の中、更なるお願いで恐縮ですが現場の情報、医療ニーズを私たちまでご連絡下さい。

また、yahoo! JAPAN のホームページ上でも同様の趣旨にて、「被災地の医療提供体制を支援する会」という掲示板を作成致して頂きました。併せてご利用頂けると幸甚です。

【青森県】被災地の病院情報・医療支援 <http://bit.ly/h3B1y9>

【岩手県】被災地の病院情報・医療支援 <http://bit.ly/hEWsbj>

【茨城県】被災地の病院情報・医療支援 <http://bit.ly/fwH18g>

【福島県】被災地の病院情報・医療支援 <http://bit.ly/hnJB01>

【宮城県】被災地の病院情報・医療支援 <http://bit.ly/eCHiIR>

【患者会のうごき】

○全国パーキンソン病友の会（事務局長・一穂さん）

・事務局便り臨時号を3号まで発行。

被災地の会員の安否、義捐金に取り組むこと、4月に予定していた国会請願行動は中止とすることなどを知らせました。

○全国膠原病友の会（副会長・森さん）

当会でもホームページの中に、震災に関する大切な情報や被災地からの報告などを掲載するページを開設しました。

<http://www8.plala.or.jp/kougen/>

ステロイド剤や免疫抑制剤など大事な薬が手元にあるのかが心配です。

24日には機関誌を発送する予定ですが、郵便事情を心配しています。被災された方にもいち早く情報が届くと良いのですが・・・。

ごく一部の確認ですが、福島県支部から津波被害の大きかった南相馬市の会員さんが無事に避難されているとの連絡がありました。きっと各地に避難されているだろうとは思っていても、このような連絡が入ると、ホッとします。

避難所での状況も大変だと思いますが、皆さんのご無事を願っています。

【JPAホームページに東日本大震災に関するページを立ち上げました】

<http://www.nanbyo.jp/>

リンク1は、JPAからの情報を流します。

リンク2は、震災情報用ブログにリンクしています。

直接のアクセスはこちら <http://blog.goo.ne.jp/jpa2011>

*こちらにも、みなさんからの情報をお寄せください。

（管理者の判断で、不適切と判断した書き込みについては掲載を取り消させていただく場合もありますのでご理解ください）